

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 …… 償却原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 …… 定額法によっている。

ソフトウェア …… 定額法によっている。

(3) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンスリース取引については、重要性が乏しいため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金	300,000,000	0	△ 299,358,618	641,382
投資有価証券				0
マツダ株式会社社債	200,000,000	0	0	200,000,000
利付国債	100,000,000	99,358,618	0	199,358,618
政府保証債	200,000,000	0	0	200,000,000
ユーロ円債	200,000,000	0	0	200,000,000
社債	0	200,000,000	0	200,000,000
合 計	1,000,000,000	299,358,618	△ 299,358,618	1,000,000,000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
預金	641,382	641,382	0	—
投資有価証券				
マツダ株式会社社債	200,000,000	200,000,000	0	—
利付国債	199,358,618	199,358,618	0	—
政府保証債	200,000,000	200,000,000	0	—
ユーロ円債	200,000,000	200,000,000	0	—
社債	200,000,000	200,000,000	0	—
合 計	1,000,000,000	1,000,000,000	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,256,000	1,130,400	125,600
ソフトウェア	308,000	215,586	92,414
合 計	1,564,000	1,345,986	218,014

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

	科 目	帳簿価額	時価	評価損益
SMBC	第239回日本高速道路 保有・債務返済機構債	100,000,000	102,900,000	2,900,000
SMBC	第30回マツダ社債	200,000,000	198,480,000	△ 1,520,000
岡三	第270回日本高速道路 保有・債務返済機構債	100,000,000	98,660,000	△ 1,340,000
岡三	モルガン・スタンレー B.V (ユーロ円債)	100,000,000	101,204,800	1,204,800
岡三	第561回関西電力債	100,000,000	100,340,000	340,000
三菱	第130回利付国債(20年)	100,000,000	109,362,000	9,362,000
三菱	バークレイズ・バンク・ピーエルシー (ユーロ円債)	100,000,000	113,065,000	13,065,000
三菱	第34回三菱UFJFG劣後債	100,000,000	100,440,000	440,000
みずほ	第79回利付国庫債券	99,358,618	87,500,000	△ 11,858,618
	合 計	999,358,618	1,011,951,800	12,593,182

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替内訳

経常収益への振替

基本財産受取利息に係る振替額 14,618円

(単位：円)

2023年8月～2024年3月	2024年4月～2025年3月	2025年4月～2025年6月
14,618円	21,928円/年	5,470円